

平成26年12月22日(月)

老球の細道93号

## 平成26年度「アスリート教室」終了

会津バスケットボール協会理事長 室井 富仁

バスケットボールの生誕123周年記念日の12月21日(日)に会津バスケットボール協会主催の「アスリート教室」が終了した。9月にスタートして全9回にわたった。

目的は二つ。平成29年度に福島で開催される全国インターハイに会津地区からの出場を目指せるよう、当該年度に高校生になる小学生、中学生の全体的なレベルアップを図ること。そしてもう一つは、日頃自チームでファンダメンタルを十分に指導を受けていない子どもたちに正しいファンダメンタルを指導して将来の飛躍に役立てることである。

講師陣は私がチーフコーチの任に当たり、松井会長、星強化委員長を始め各カテゴリーの有能で情熱ある指導者のべ13名と将来指導者を目指す高校生3名で指導スタッフを組織した。各コーチがそれぞれのカテゴリーを分担しながら熱くコーチングしてくれたので、約70名にのぼる多くの子ども達にきめ細かな指導をすることができた。子ども達を送迎する保護者の方々も熱心で、練習の最初から最後まで2時間通しで見学する人も多かった。

第1回(9月15日)「正しいドリブルのつき方と速攻で使うブレイクドリブル」

第2回(9月21日)「セットシュートの正しいフォーム作り」

第3回(9月28日)「ジャンプシュート、プロテクトシュート」

第4回(10月19日)「ドリブルチェンジ、オフenseフットワーク(ピボット等)」

第5回(10月26日)「クイックパス、フェイントパス、ボディーコントロール」

第6回(11月24日)「ドリブルボディーフェイク、リバウンド」

第7回(12月14日)「オフenseスペーシング」

第8回(12月20日)「ウイングの1:1オフense」

第9回(12月21日)「ローポスト1:1オフense」

今回は今までのように最後にゲームドリルを入れることをやめて、徹底してファンダメンタルドリルのメニューを増やした。選手には申し訳なかったがファンダメンタルで満腹になって帰ってもらった。特にファンダメンタルの細かいところは多くのコーチ、プレーヤーの盲点になる。あまり面白くないから皆やりたがらない。だから、そこに活路を見いだすことができれば、普通の選手でも卓越した選手に成長することができる。会津地区でも他地区を凌駕することができるかと確信する。

ところで、会津地区のアスリート教室の強みは何と言っても松井会長自らトレーニングウェアに身を包み、コートをかけめぐりながら大きな声を出して指導してくれていることである。練習の最後には保護者を交えて医科学の豆知識やバスケット英語の解説までしてくれる。そんな会長の姿を見ながら我々指導者もどれほど叱咤激励されたことか。

9回にわたる充実した時間を終えて改めて確信した。小、中学生が将来大きく成長するためには3つのことが必要だ。①確かなファンダメンタル②オールラウンドプレーヤーを目指す③素直な気持ちと負けず嫌いのメンタル。このようなことを会津地区全体の指導者が共通理念として子ども達に日々指導に当たってもらえたら幸いである。

最後に、今回将来の会津地区のトップアスリート達に、休日の貴重な時間体育館を提供してくれた会津高校、会津学鳳高校、葵高校の顧問の先生や生徒の皆様へ感謝、感謝!